

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 024	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 夏季高温対策技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 夏季の高温により、生産に影響を受ける花卉類は非常に多くある。特に本県の主力鉢物・苗物であるシクラメンやパンジーでは夏季の高温による生育停滞など生育不良、病害多発による枯死などの障害が発生する。そのため、夏季の温度上昇を防ぎ、安定的生産が可能となるための技術確立を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名 農業研究センター	担当部所 果樹花き研究部
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 遠赤色光吸収フィルムを利用したパンジーの効率的育苗方法の検討パームポットによるシクラメンの夏越し栽培について	
対応の内容等 本県の主要花き品目であるシクラメン、パンジーにとって、県内の夏期の気温は生育適温を大きく上回っており、近年の温暖化でますます高温対策は重要なものとなっています。 パンジーについては、地温を下げる効果を有する遠赤色光吸収フィルムを遮光資材として利用することで、8月は種で、発芽率、生育向上に効果があることがわかっています。今年度は最も高温期の作型となる7月は種での効果について検討します。 シクラメンについては、これまでに、ヤシ繊維ポットや不織布ポットで育苗することにより地温が下がり夏期の生育が向上するという結果が得られています。今年度からは、シクラメンについても、遠赤色光吸収フィルムによる遮光の効果について検討します。 現地での高温対策の取り組みなど情報提供をお願いいたします。	
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	